

調査で分かつた人それぞれの危ないこと

経験、体力、年齢、性別・・・人それぞれのヒヤリ・ハットを知ることも、自身の農場で事故を防ぐ大事な情報。

研修会や情報交換会で、「私のヒヤリ・ハット作業や危なかった（ケガした）経験」についてアンケートを実施したところ、以下のような意見が出ました

※2020年アンケート結果より 記載いただいた内容をそのまま表現しております



牛にど突かれた、飛ばされてストールに顔面強打。

育成牛の除糞作業の時に襲われて倒された。同時に、コンクリートの壁に叩き付けられた

発情牛にどつかれて、全身打撲で入院

牛を挟んで母と話そうとしたら牛が驚いて、後ろにいた母を蹴飛ばした。起き上がってた所に同じ牛が再キック！もうダメかと思った

パートナーの搾乳終了後の掃除の時に太いホースを踏み倒し、足の甲を骨折した。チョットした不注意だった

スタンチョン牛舎で発情の牛にスタンディングされ、鼻を骨折した

もくしをつけた牛に引っ張られて、そのままひきずられた。手がはずせなかった

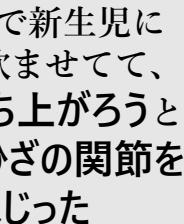
モクシをつける時に頭を上げられ、くちびるを切った

雪の積もったスタッフサイロの上に登った時にシートが滑るので、上から転倒した

ロープで牛を固定しているとき、牛にひっぱられていた

搾乳中に親牛にふくらはぎを蹴られて骨折した

牛から突進を受けた



下の写真から、何が起こるか分かりますか？



引っ越してきたばかりの牛がいます。分娩後すぐで、体調は悪いです（食欲減退、低カルシウム血症）

獣医が来るので焦って処置の準備をします。寝わらを整えながら、調子の悪い牛の懐に入っていきます。

この後、作業者は牛とサイドパーティションの間に挟まれろっ骨を損傷、気絶しました。この事故を防ぐにはどうしたら良いでしょう。

